

食用油を使用した調理について

積極的に
新しい調理法を
試してみたい！
(専業主婦)

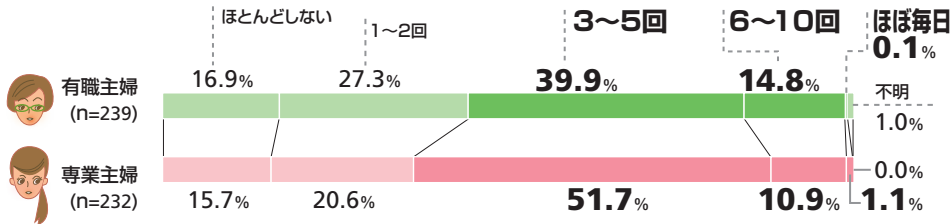


1ヶ月に夕食で揚げ物をする頻度は、専業主婦のほうが有職主婦よりも高い傾向がある。夕食で炒め物をする頻度は週平均2.6回で、有職主婦と専業主婦に大きな差は認められなかった。一度の炒め物での食用油の使用量は、有職主婦の方が多い。これは、有職主婦は大きな容量の食用油を購入することから、一度に多くの油を使用する傾向が表れるためだと考えられる。また、有職主婦の方がまとめて大量の炒め物をすることや、短時間で炒め物を完成させるために多くの油を使用して火の通りを良くしていることも推察できる。

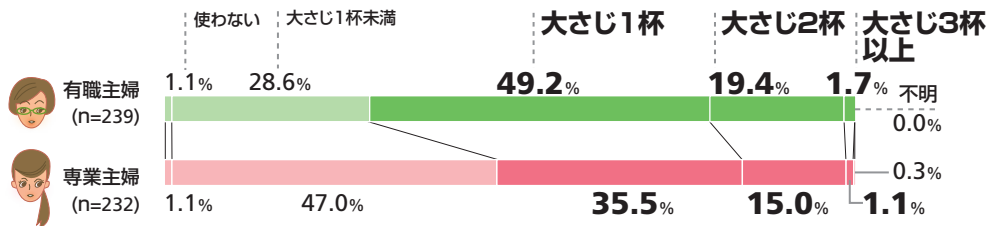
新しい調理法である揚げ物風調理*について知っているかどうかを聞いたところ、全体の55.5%が認知していた。この中で、専業主婦には「調理してみたい」と感じている人が多く、新しい調理方法を積極的に試してみたいという、調理に対する関心の高さが感じられる。一方で、時間に追われる有職主婦には、揚げ物風調理は調理過程が多く手間がかかりそうだとされているのかもしれない。

※揚げ物風調理とは：食用油で揚げずに、材料に少量の油やパン粉をまぶし、オーブンや電子レンジを使用して、フライ、から揚げなどの揚げ物メニューを作る新しい調理法

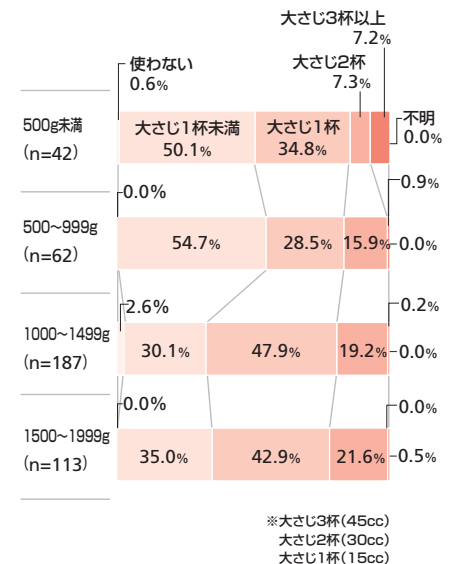
夕食での揚げ物月調理頻度



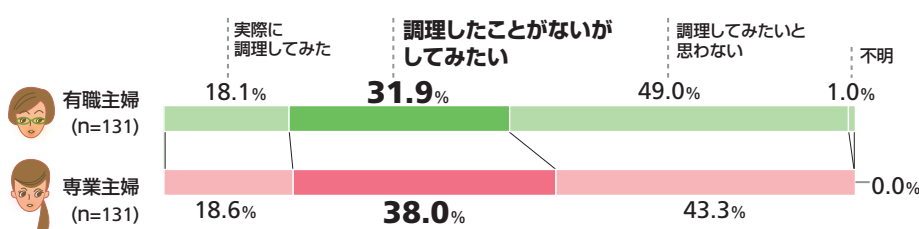
一度の炒め物に使用する食用油の量



一度の炒め物に使用する食用油の量と購入容器容量



揚げ物風調理の調理意向



一食の品数が
少なくてすむ
「カレーライス、丼ものなど」
をよく作ります！
(有職主婦)

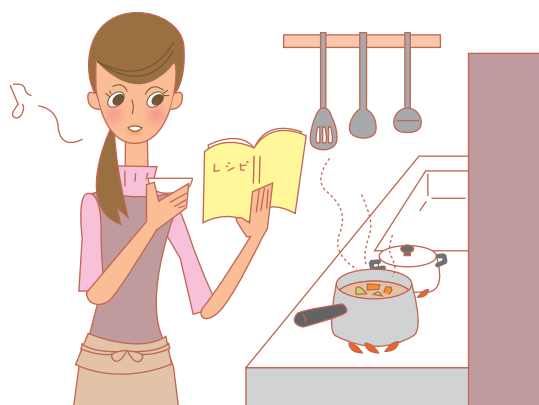
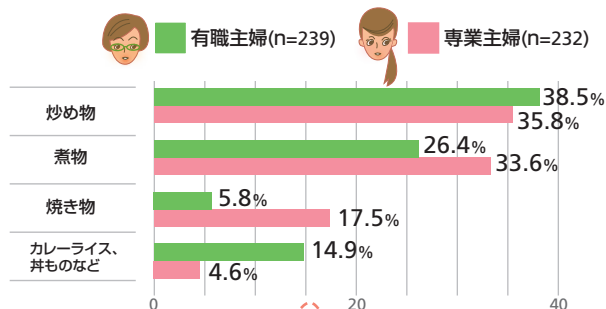


最もよく作る料理の割合は、全体では「炒め物」ついで「煮物」が高かった。有職主婦では、専業主婦に比べ「カレーライス、丼ものなど」の割合が高く、「煮物」「焼き物」の割合が低い傾向にあり、その料理をよく作るのは「調理が簡単だから」との理由が45.2%と最も高かった。

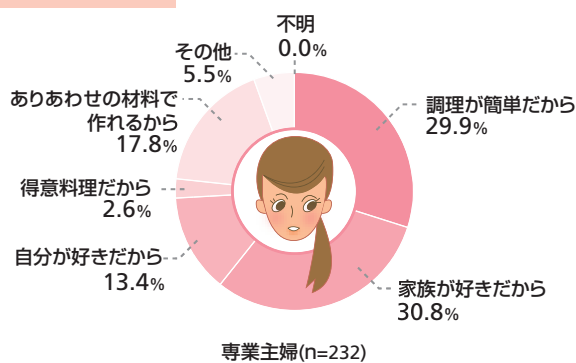
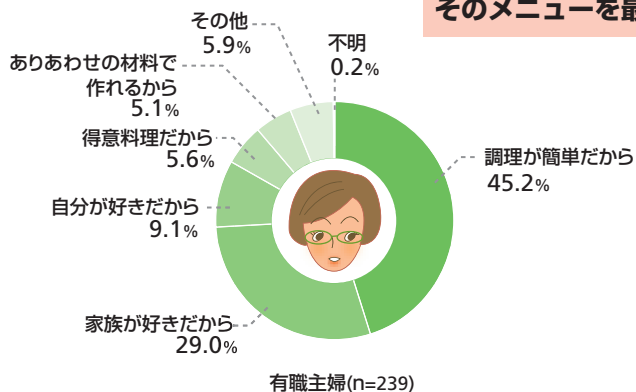
「カレーライス、丼ものなど」は一品で一食となることから、食事作りを手軽にすませたい有職主婦の人気メニューになるであろう。一方、「焼き物」はグリルを使用することが多いため、使用後の掃除に対する負担感から調理を遠ざけられていることが考えられる。

『食事作り』が「好き」である割合は、専業主婦の方が高かった。『食事作り』に対する関心の高さや、割ける時間の余裕などが、このような気持ちを引き出しているのかもしれない。

最もよく作る料理



そのメニューを最もよく作る理由



食事を作ることに対する気持ち

